



# 議会だより

No. 14

発行責任者：南魚沼市議会議長 峠 佳一 編集：議会広報編集特別委員会

- 3月定例会の傍聴者 **48人** (延べ) でした



203名を迎える塩沢中学校入学式

## 平成20年度 一般会計予算

予算総額

**288億6,800万円** (前年度対比2.4%増)

(万円未満切り捨て)

繰上償還、借換え分を除く実質予算額 **273億2,664万円** (△1.8%)

繰上償還とは……借り入れた市債を、返済期限を繰りあげて返済すること。(今回は国等から借りている5%以上の利率の借金を繰りあげて返済しました。)

# 市長所信表明

(抜粋)



88億6,800万円で開催したところであります。

南魚沼市誕生から早3年半、塩沢町との合併、

安全のまちづくりのための施策に取り組んでいく必要があるものと考えております。

このような中

平成20年度を迎えるにあたり所信の一端を申し上げます。

当市の財政状況は、実質公債費比率が24.6%と県下ワースト1の厳しい状況となっており、この解消に向けた取組みが財政運営上の大きな課題となっておりま。また、昨秋に策定した財政計画(財政シミュレーション)等を踏まえ、財政の健全化を図りながら、安心・

道事業引継ぎ、広域連合の事務継承など、その規模を拡大しながら、「自然・人・産業の和で築く安心のまち」をテーマに、「地域完結型社会」の実現に向けて取り組んでまいり、目標とする新市建設への基礎固めができておると考えております。

「市民一人ひとりが市政の主役」を基本に、それぞれの施策を一步步づつ実際に実行してまいりたいと考えておりますので、引き続き市民の皆様並びに議員各位のご支援とご指導をお願い申し上げます。

④大河ドラマ「天地人」プロジェクトの推進、⑤2009年トキめき新潟国体の準備、⑥財政健全化の推進を重点施策として、前年度比2.4%増(長期債の繰上償還及び借換償還を除いた実質的な比較では1.8%減)の総額2

億5,650万円、累計で約76億円となり総枠約250億円の3割くらいの利用率となる。

# 質疑応答

(抜粋)

平成20年度一般会計予算

## 総括質疑

**質疑** 5ヶ年計画の財政健全化達成率が54%だが、残り2年で100%達成できるのか。

**答弁**

数字上少ないが、継続して努力をしていく。人件費は、現状は計画以上の退職者が出ています。歳入の確保は滞納整理に強く当たるようにする。計画は7項目に分けている。全体として100%を目指す。

**質疑**

合併特例債は、本年度どれくらい予定をしているのか。

**答弁**

合併特例債は本年度16億5,650万円、累計で約76億円となり総枠約250億円の3割くらいの利用率となる。

**質疑**

米作は基幹産業だが、予算を見ると主要施策にない。観光も「天地人」一色。原点の基幹産業に對して今後どう考えているか。

**答弁**

予算では触れていないが、継続的なものでありコシヒカリが柱である。平成20年は県間調整などをやって努力をしているので、普遍的なものとして理解を。観光は「天地人」に絞っていききたい。

## 歳入

**質疑**

自動交付機の維持費は、機械より臨時の人を雇った方がいいのではないかと研究すべきだ。

**答弁**

年間600万円維持費がかかる。朝7時半から夜8時まで対応できるの

で無駄だとは思わない。窓口よりプライバシー保護の面もあるので有効だと思っている。

「ララ」の設置も考えたが、法的に置けない。

## 総務費

**質疑**

税金の徴収システムでコンビニ収納への取り組みは。

**答弁**

平成21年度からコンビニ収納もできる。

**質疑**

職員人件費が1億1,000万円の減であり減っていない。財政健全化を進めるにはもっと人件費を10から15%削減すべきだ。

**答弁**

人件費の削減は予定より進んでいる。

**質疑**

コンピュータ関係経費が多い。システム改革などで委託費など削減の考えはあったのか。

## 編集委員より

主要施策の予算や内容、前年度との対比表などは別刷市報の「予算特集号」に記載されています。今回の「議会だより」は質疑応答を中心に編集しましたので合わせてご覧下さい。



## 商工費

〔質疑〕

雪祭り実行委員会運営費補助金は、当初ステージ制作費だったが、運営費になった。

各旧町の祭り補助を統一したいといったが、どうなったか。

〔答弁〕

雪祭りは復興基金で行っていたが、産業祭り、夏祭りなどそれぞれ成り立ちが違う。地域ごとの特性を出すべきとしている。

六日町だからという考えはない。産業祭りは市のもので考えている。花火はなんとかして統一したいと考えている。

〔質疑〕

八箇峠快速道路は、平成24年トンネル貫通、平成25年開通予定と言ったが、進捗状況はどうか。インターまでくるのか。

〔答弁〕

平成25年にまず野田インターまでつなげたい。

取り付けの市・県道が危険とされている。用地買

取は欠の上までいいがここからインターまでが難航している。

## 消防費

〔質疑〕

救急車到着時間が全国平均6・3分。当市は9・8分で県下ワースト1である。対応はどうか。道路整備は関係するか。

〔答弁〕

署所の位置に原因がある。3キロ消防といわれているが、道路整備がすすめば改善する。

## 教育費

〔質疑〕

五十沢小学校統合について、急ぎすぎた感がある。市長からの諮問を受けて3年、地区で本格議論になって7ヶ月、耐震2次診断から5ヶ月、地区の結論から1ヶ月、総務文教委員会での検討からも1ヶ月。早すぎるがどうか。

〔教育長〕

五十沢小学校の老朽化耐震2次診断では使用不適當の2点を受け、早く安全に、校区の皆様も一日も早く安心なところで考えている。合築についての時間は、学区再編委員会でも検討頂いた。

耐震補強をするが、設備関係はそれと関係なく老朽化が進む。五十沢、大巻、城内各中学校は新しく、安心して使えるので当面使いたい。もし地域の議論があれば別に考える。安全を一番に考えての精一杯の結論である。

〔質疑〕

学校教育施設の向こう10年の施設整備をどう考えているか。

〔答弁〕

校舎整備を10年スパンで考えている。耐震化についての改修は県下トップである。現在8校が終わり、平成20年に浦佐小学校と塩沢中学校を、平成24年にはすべて完了する。

耐震補強した校舎を大切に使っていきたい。

〔質疑〕

五十沢の教育を考える会の運営について  
①、全体の理解はどうか  
②、教育委員会が誘導したのではないか  
③、議会軽視ではなかったか

〔答弁〕

五十沢については、町合併前から検討されている。①、②、46名プラス15名の小委員会で会議を進めた。地区の理解が一番大切と考えている。会の案内などすべて全戸配布をした。アンケートが五十沢小学校だけだったので、今回は全戸から取りその結果も丁寧にすべて全戸配布をした。

3月1日委員会の総意として出されている。丁寧に6回の会議の中

でやってきた。反対意見は出されていない。地区住民の理解を得る

ように丁寧にやってきた。このことから、教育委員会としては時間をかけて丁寧に総意を得たと考えている。

③、丁寧に配慮をして、決して議会軽視ではない。

④、3中学校の統合が出た場合、3地区の合意は下地づくりが必要。合同授業や先生方の交流などの下地づくりをしながら行うことを肝に銘じながら進めている。

〔質疑〕

中学校の各種大会で生徒の送迎はどうなっている。通常大会の中で保護者が頼んでも市のバスは出さない。事故が有れば善悪であっても責任がくる。公用車としてきちんと対応をせよ。

〔答弁〕

原則部活利用は、県大

会以上としている。頻度と費用等を調べ対応する。

〔質疑〕

給食センターについて、市全体の質の向上とすることで再編というが、六日町給食センターは給食数が県下一番で改善は。なぜ今回塩沢小中だけなのか。答申では小中別がいいとされていたはず。

〔答弁〕

塩沢小学校・中学校ともに老朽化しているが、両給食センターを一度には出来ない。一時的に中学校の所で小中分を担ってもらう。その後次の段階の手を打たないと出来ない。食育も考えていかなければならない。





**答** 継続・計画性がポイント

南雲淳一郎 議員

五十沢地区区民の3年間にわたる検討の結果、2小学校は「五十沢中学校に合築統合」し小中連携教育を目指すことに決定

## 小中連携教育の意義

**教育長**

した。連携教育の意義を何う。

現在小学校と中学校では制度上、設計上に大きな違いがある。小学校は学級担任制であり中学校は教科担任制だ。そこに大きなギャップが生まれている。かつては大勢の子ども達はこれを持ち越えて成長していった。しかし、近年少子化や社会の急激な変化により、ど

うしても乗り越えられず、つまり子ども達がいる。具体的な現象としては、イジメ、不登校等だ。これらを改善するために教育特区認定を受けた小中一貫教育がある。六三制の枠外で実施されることが多く、転校などに難点がある。

じて小中学校教師が見とどけることにより、教育に継続・計画性が生まれ学力・学習意欲・心の成長に大きく寄与できるものだ。



小学校授業風景



**答** 確保にむけ努力する

中沢俊一 議員

秋の改選を控え市長が積み残したと思われる政策の一つに、全国最悪の地盤沈下対策への対応がある。特に次の3点では

- ① 民間井戸の寿命による地下水以外の補助事業。
- ② 六日町中学校などへの「抜け上がり」抜本策。
- ③ 下水管の漏水、たわみ等により耐用年数が短縮になるのではないかと。もし影響があるならば、6万市民の大きな負担となる。

**市長**

昨年11月、国と北陸地方整備局と市とで、対策を協議した。本格的な地質調査だけで約5千万円が見込まれるが、20年度はこの確保に向け努力する。

- ① 地熱を利用した新技術の研究を始めた。
- ② 抜け上がった建造物は地震の横揺れに弱い。抜本策はまだ調査中。
- ③ 駅西下水管への影響はないと考えているが、

毎年調査はしている。



六日町中学校の地盤沈下

## 天地人を機に

### 芸術文化面の拠点化を

**答** 芸術文化面のPRに努める



**阿部 俊夫 議員**

合併に伴い、美術館等芸術面の拠点が大幅に増えた。特に田中政之氏の遺品は、衝撃的な死を遂げた氏の生きた証を永遠

に残したいという、遺族の一心の寄贈だ。天地人を一過性にしない為にも、より多くの誘客で芸術文化面でも観光客の定着を。

芸術文化面のPRをし観光誘客につとめたい。

### 今後の医療は

**阿部**

基幹病院の設置を機に県が魚沼圏域の県立病院から撤退する事は、地方切捨て、県民の安全、安心の責任放棄で絶対容認出来ない。市長は早く県立病院の運営引継ぎを表明したが、大和と城内病院の運営をしていることで困難さは認識のはず

だ。県への働きかけ、責任をもっと追求すべきだ。

**市長**

県の意志は固く、市民の安全、安心を考え、早期に継承を表明した。単に運営放棄させるのではなく、会計基準練り出しの確保、土地、建物、医療機器等で、市に財政負担が生じないように、県との交渉に臨みたい。

### 環境行政について

**答** 温暖化対策など、市が率先して行動を起こす



**関 昭夫 議員**

市自ら環境への行動計画を策定するが、具体的にはどのような行動を起こそうとしているか。

**市長**

計画を進めるために、市が率先して行動を起し市民や事業者に広げていく。そのために環境基本計画に示されている行動計画の項目によって、管理施設別に具体的な数値目標を掲げ、結果を評価して市民および事業者に周知していく。

**関**

環境問題が大きく取り上げられている中で、平

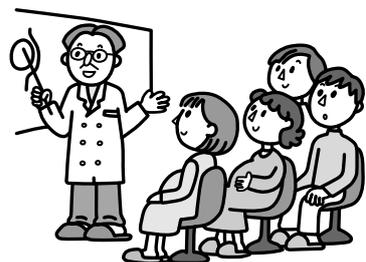
**市長**

成21年度には環境課がなくなるというが、市長の言われていることと方向が違うのではないか。

**市長**

組織的問題は私と見解が違うが、環境はこの地域の産業にも大きくかわっている。市長も熱意を持っていると思うが。

市が環境問題に対して後退していると指摘を受けないような形を出していく。



環境衛生センター



**答** 今後避難ルートの見直を図る

**寺口友彦 議員**

議員会で柏崎刈羽原子力発電所を視察し、活断層に対する認識の甘さが想定外の被害をもたらしたと実感した。中越大震

## 活断層情報を防災活動にいかせ



**答** 今の制度では経済支援できない

**若井達男 議員**

市内には常設、公設民営、私立保育園が子育て事業の柱として運営されている。しかし、これらの保育

## 閉園の危機、認定外保育園を救え

園とは別に子育て支援を行っているのが認定外保育園「たんぼぼ」である。  
0才児から1才児15名、2才児未満14名、2才から就学児未満21名、朝6時30分から夜9時、365日の開園である。まさに市の子育て事業の下支えであるが閉園の危機に面している。

**市長**

現状は理解している。認定外保育園には制度上、具体的な経済支援は出来ない状況にある。  
・市としてなんらかの支援を考えなければならぬが直ちに方向は出ない。  
・今後担当課と、支援を含め方向を検討していかねばならない。



たんぼぼハウス

災後、活断層調査が行われたが情報はどうなった。情報をいかして避難ルートを見直し、地域での防災訓練にいかせ。

**市長**

地震以後市内に3ヶ所調査が入った。六日町断層は総延長42kmといわれている。調査の詳しい報告はまだきていない。地震を想定してのハザードマップは作っていないが、調査報告を見て避難

## 消雪パイプ路線の機械除雪は

**寺口**

昔からの消雪パイプ路線が地下水不足のため機械除雪で対応する路線が目立ってきた。消雪パイプの電気代もかかり二重経費だ。好評の新型感知器の拡大や除雪技術のデータベース化など経費を

策をとるべきだ。

**市長**

市内に消雪パイプ路線が764本ある。今冬機械除雪に頼ったのは塩沢 4・8 km、六日町 4・3 km、大和 2・1 kmであった。消雪パイプリフレッシュ事業は道路特定財源が使われている。機械除雪にもどすなど早期対策が必要である。



六日町断層帯

## 更なる人件費削減を

答 試験的に班体制を導入する



今井久美 議員

① 産業振興のための市長  
トップセールス、総合  
政策の成果は。  
② 「住民の福祉の増進を  
図る」目的達成や、老

朽化した五十沢小学校  
の統合事業など、財政  
的に次の世代に課題を  
先送りせず実施するた  
め、人件費総額の更な  
る削減を。  
③ 財政健全化実施中の総  
計画審議のあり方に  
ついて。

市長

① 塩沢庁舎のコールセン  
ター、稲作の県間調整  
に努力してきた。総合  
政策として「天地人」

で市のPR、知名度ア  
ップを図ってゆく。  
② 削減してゆかなければ、  
市の将来も厳しい。業  
務の効率化、試験的に  
「班体制」も導入して  
削減努力してゆく。  
③ 大きな枠の基本構想と  
違って、実施計画は複  
雑、高度化しており難  
しくなってきた。  
新年度に審議会の体制  
も変わるのので意見交換  
し、活発な議論ができ  
るよう検討する。



津久野工業団地

## 地盤沈下対策を

答 研究していく



遠山 力 議員

地盤沈下は、今年によ  
うな、平年並みの降雪で  
も進んでいる。これの対  
策は、長期的なものと、  
抜本的なものと、今すぐ

にするべきのものがあ  
る。規制区域内の経済が  
停滞し始めている。市中  
心部の元気がないと、市  
全体に影響を及ぼす。  
現在の規制区域の線引  
きは、平成18年の地下の  
状況調査で、あまり意味  
がないと報告されている  
がどう考えるか。

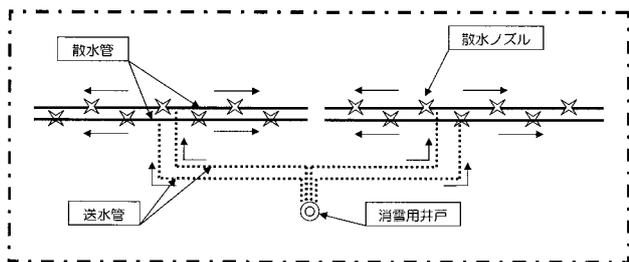
市長

令による絞りなどの実行  
が必要と思うがどうか。  
規制区域内の元気がで  
ないことは承知してい  
る。現在の規制の線引き  
との関連もあるので、環  
境省の補助を得て、深層  
を含めた調査を行い、今  
の規制でよいのかの判断  
をしたい。

をみて話し合っていく。  
間欠散水は、実施してい  
るところもあるし、第二  
融雪契約のままでもなん  
もない。警報は当市でも  
実施している。一般の方  
からも、できるところの  
協力を得て、お願いする  
ところは、お願いして効  
果をあげていきたい。

また、今すぐ大切なこ  
とは、揚水量を減らすこ  
とであろう。時間差散水、  
千鳥交互散水、地下水位  
が下がったときの警報発

節水対策は、市民の理  
解を得ながら、今できる  
大切なことだから、機会



千鳥交互散水方式



**答** わりにきちんと検証してゆく

**和田 英夫 議員**

市の組織機構改革で本庁舎方式になり一年が経過した。私は厳しい財政事情と大和・塩沢庁舎の有効活用を考え異議を唱

## 窓口サービスは平等に

えてきた。市長は事務室不足の為に更に本庁舎に隣接する保健センターの利用と農協ビルの借用・2箇所駐車場用地の取得を今議会で表明したが、本庁舎整備は最終的にはどの位の事業費か。又本庁舎方式から1年、私はいろいろ問題があったと思うが市長の評価は。

**市長**

速やかな行政執行と意

市長は日頃「市民一人ひとりが市政の主役」と言われているがその為に6万3千人市民が平等な行政サービス・窓口サービスが受けられる機構組織が重要だ。市長は市民に迷惑や不便をかけないと言って来

**和田**

思決定事務事業の改善等評価される。本庁舎整備の総事業費概算は3億3千3百万円。

**市長**

指摘された問題を含め検証させていただき、市民の皆さんが不平不満が出ないようにしなければならぬ。



**答** 親しむ、楽しむことを体験させる

**阿部 久夫 議員**

来年放映の「天地人」の陰に隠れスキー場での取り組みが失われている。ピーク時期は3百万人以上のお客様が来た

## スキー授業の拡大とジュニアの育成強化を

が、昨年は百万人を切った。以前は、各学校でもスキー授業やジュニアの育成にも力を入れてきたが現在は申しわけ程度である。スキー技術の向上や将来のスキー観光を守る為にもスキー授業の拡大とジュニアの育成を図る事が必要である。

**教育長**

体育の時間が限られて

**阿部**

スキーに親しむ、楽しむには技術の向上が必要である、その為には低学

スキーに強くなりたい人は、専門家の指導で腕を磨いていただきたい。

**教育長**

年から指導すべきである。出来る限りの取り組みはしている。スキー場までの移動にバスが出されるか又スキー用具や服装に対してどのような措置がとれるか検討していく。



## 学区再編検討委員会 の中間答申を受けて

答 慎重に進めてゆく



笠原喜一郎 議員

「子供たちにとって好ましい教育環境とはどうあるべきか」を基本に検討されてきた学区再編検討委員会での中間答申が出

た。南魚沼市の地域特性を考慮した学校の適正規模として、小学校では6学級以上でかつ1学級15人以上であること。中学校では7学級以上が必要とある。

平成25年度の児童・生徒数の予想から小学校で12校、中学校で3校がその対象と考えられる。特に五十沢、大巻、城内の3中学校は3学級から5学級しかなく、教員の配

置も6人〜7人となる。中間答申を尊重するという教育長の答弁からすれば最終答申ではこの3中学は統合の方向が予想される。

一方、五十沢地区では統合小学校を中学校に合築して建設することを決定した。このことが中学統合を遅らせることにならないか。

### 教育長

最終答申で統合の対象

となった地域には説明、懇談、合意といった手順を踏み具体的なスケジュールをつめていく。

3中学についても統合という方向が出ればその方向で進めていく。

五十沢地区の小中合築が中学統合の支障になるとは考えていない。



城内中学校

## 民営化は 何をもたらすか

答 削減効果は5000万円以上



岩野 松 議員

ゆきぐに大和病院と魚沼荘が4月から食事部門が民営化になる。民営化のメリットはあるのか。病人や高齢者を

扱う施設で、民営にして、食事の安全、安心は保てるのか。野菜など調理してしまえば地元も輸入もわかりにくい。今まで、両方とも比較的地元調達が多く、食事内容も評判がよかった。地域の食料や、地元の商店から、これからも引き続き調達になるのか。又そこに働く労働者の待遇はどう変わるのか。パート労働者が増えるのではないか。そこに働く労働者の待遇

が悪くならないか。

### 市長

経営の合理化には民間はよく研究し、進んでいる。民営化になるとその部分の人員費やそれにかかわる経費も要らない。魚沼荘は法改正でやれることになった。病院では約4500万円、魚沼荘では約1000万円の改善になり、財政健全化のためにも必要と思っている。

管理栄養士を病院2名、魚沼荘1名は市の職員で、安全性は保てる。食料は契約時に極力地元業者を使うよう頼んでいる。

働く労働者に関しては、契約業者の範囲内なので話し合いや、内容はふみこめない。



魚沼荘



**答**  
基幹産業は農業だ

## 地域農業の 振興について

**関 常幸 議員**

中国製冷凍餃子の農業混入による食中毒事件は、日本中の台所を震撼させている。まだ事件の真相が究明されていない。

命に関わる問題にも関わらず、又かと言う思いを禁じ得ない。これからも、地球規模で農産物流通は続く。日本の農業政策がしっかりと行われてはならない。ついに日本は食糧自給率40%を割った。日本人の胃袋を命を食卓を外国に依存していいの。三点伺う。

①米価が下がるのは過剰作付けだ。補助金のバラマキもダメであり、「生

産調整の実施」と「担い手の支援」は別立てで。②「集落営農集団」の育成が遅々として進まないうが。③飼料の高騰により、17戸の畜産農家は危機的状況だが。

**市長**

当市の基幹産業は農業だ。別立ては難しいと思うが、生産調整は100%の実施。そして、米のコスト低減のためにも法

**市長**

早めに提案していただければ、その時点で考える。

**関**

浦佐住民は跡地利用について現在協議しており、市と一体となって進められないか。

## KCK跡地の活用

人化営農集団は不可欠。畜産農家が継続される環境作りを支援する。



**答**  
平成22年度工事開始の予定

## 今泉博物館整備促進の 進捗状況は

**高橋 郁夫 議員**

今年に入り、市の整備計画を今泉氏の御遺族に示し、了解を得たと聞いた。

①御遺族に提示された整備

備計画の内容は。②整備完了の目標及び、今後のタイムスケジュールは。③整備には、合併特例債の利用は可能か、又指定管理も含む開設後の運営方法は。④天地人の放映に合わせ、部分的にも工事を行ない利用出来ないか。⑤検討を進めるに当たり、地域住民、関係機関の意見を聞きながら進めるべきである。

**市長**

①道の駅とするための整備及び、他の展示品の展示も行えるようお願いし、快く了解をいただいた。②平成20年度に事業の調査、平成21年度に実施設計、平成22年度には工事に入る予定である。③物産館以外の整備には特例債を利用出来る。また、物産館の機能もあり、指定管理はなじ

まない。民間での管理運営が良いと思うが、検討する。④観光案内及び物販販売については、部分的に開設する事は可能である。⑤市民の皆様、議会、商工会、観光協会などの意見を聞きながら進める。



今泉博物館

## 財政健全化と 市政の方向

**答** 暮らしを支える政策を重点政策に



**笛木信治 議員**

財政健全化計画では、建設事業が多く市民のくらしを支える政策が少ない、財政健全化の名のもとに住民要望を軽視すべ

きてない。

**市長**

財政健全化計画では福祉にかかわる部分で表わしていないが軽視はしていない。妊婦の健診も2回から5回に増やした。建設事業でも市民のくらしを支える部分はある。計画になくてもやるべきことはやるし、市民のくらしを支える政策が圧迫されるようなことはない。

## 地域医療体制の 確立は

**市長**

六日町病院の経営、大和病院の再編による地域医療体制の確立はどうなるか。又再編に係る費用はどうか。

**市長**

大和病院の高度な部分は基幹病院だがその他は六日町病院に移す。もちろん大和の地域医療に係

る部分は残す。

六日町病院は民間でやり手がなければ市営でやる。受け入れにともなう費用は考えていない。

## 農商工連携で 地域経済の活性化を

**答** 連携を積極的に支援したい



**佐藤 剛 議員**

農業が活性化されれば、商工業も活性化するという経済が地域で完結するシステムは六日町駅前商店街だけでなく、市

**市長**

農商工連携はやらなければならぬ。災害復旧資金の支援メニューを活用しながら商工業者等と

## 安心安全な 防災対応を

**市長**

共同実施事業も進めたい。連携の支援もしたい。自主防災組織の活動には温度差がある。訓練のマニュアル化で活動の統一を図る必要はないか。

**市長**

地上デジタル放送のデータ放送は災害時有効な情報通信手段だが、県と共に取り組む考えは。

事業所との防災協力協定は災害時の協力が見込まれ、具体的な行動計画が可能になる。協力協定の強化が必要でないか。

地上デジタル放送利用での災害時情報通信は放送局との連携、費用等もあり、県と相談しながらやれないか検討したい。



六日町駅前商店街



## 救急医療体制の整備推進を

### 整備推進を

**答** 地域医療は責任をもって守る



中沢 一博 議員

① 昨今医療体制の深刻さが浮き彫りになっている。基幹病院の開業までの六日町病院を含んだ地域医療体制が急務と考え

る。また地域住民を守るために公共性と経済性を

を県に強く求めるが。

どう両立させ今後指定管理者制度への移行、地方

① 地域医療は責任をもつて守る。現状は医師不足であるが、特に産科・

域医師会との連携の強化が欠かせないと思う。医療情報システムの整備と

小児科は開業医と連携を取り地域の安全安心に努める。運営体制は直営か

メディカルコントロール

公的独立法人かを検討中

体制の確立が急務と考え

② 救急医療体制は地元の医師会と協議しながら受入体制を整備する。救急情報システムは

ドクターヘリの早期実現

県と調整しながら今年6

月稼働に向け改修する。

③ ドクターヘリは基幹病院建設時にヘリポートを要望している。

**中沢**

子どもの農山漁村交流プロジェクトの推進を積極的に取り組むべきと考えるが。

**市長**

私が会長となり、積極的に推進する。

### メディカルコントロールとは…

救急現場から医療機関へ搬送されるまでの間において、救急救命士等が医行為を実施する場合、当該医行為を医師が指示または指導・助言及び検証して、それらの医行為の質を保証することです。

## 学校給食の安全は

**答** 安全確認まで中国産を控える



牛木 芳雄 議員

中国製の冷凍食品から殺虫剤の成分が検出され大騒ぎになっている。自国の食糧の在り方を真剣に考える時だ。そこで市

の施設について、その影響はないか、対策は。

**市長**

調査したが保育園、小中学校給食では今回問題になったような食品は使われていない。業者の皆さんにはなるべく国産品を使うようお願いしているが、どうしても国産では手に入らないものもある。文科省からも話があったが、中国産については安全が確認されるまで

使用を控える。少々高くても安心安全な食品は必要だ。

### 新型インフルエンザの備えは

**牛木**

新型インフルエンザが世界的流行を引き起こす恐れが十分にあると識者は警告する。対策や備えを十分に取っておく必要がある。県は「新型インフルエンザ対策行動計画」を作成したが、当市

も危機管理上体制を構築すべき時だ。

**市長**

防災と連携しながら正

しい知識や予防を働きかけながら、県や医師会の協力を得、「行動計画」作成の方向で検討する。



大和給食センター

# 魚沼コシの徹底した 情報開示を

**答** 積極的にすすめたい

宮田 俊之 議員

① B.L米の現在の表示方法について市長は泉田県知事の発言に対して抗議したいとしているが消費者の視点としてはトレサビリティー



牧野 晶 議員

児童虐待が市内でもあるがどのような現状になっているのか。

# 児童虐待市内の現状は

**答** 今後も防止に努める

**市長**

相談のあった件数は19年度は平成20年1月末までで40件。昨年同期は31件だった。

相談の経路は保育所15件、保健士7件、児童相談所6件、医療機関3件、小学校3件、中学校3件、母親3件から相談を受けた。

この中の20件が虐待関係であり、身体的虐待8件、育児放棄10件、心理的虐待1件、その他の虐待

待1件という内訳状況である。発見のきっかけとしては、ケガ・ヤケドの状況・箇所が不自然。給食を勢い良く食べる。服が汚れていたたりお風呂に入れていないなどの状況等を観察し児童相談所や警察、民生児童委員等と相談・連携し対応している。

**市長**

今後も寄付を求めてゆくし、今後の滞納者には法的措置もとる。

## 下水道分担金事務 処理ミスについて

**牧野**

今後の対応は。



**市長**

① 地域全体でこのB.L米

**宮田**

「ハコモノ」建設は慎重に行い集客のためのアイデアを精一杯つめ込む

## 建設前に運営方法 見直しを

② 以前六日町でのいきさつもあり慎重に考えるが大河ドラマ放映もあり積極的に考えていく。

**市長**

でから始めるべきと考えていたが「建てる」と決まればどんどん進んでしまい残念である。また伝世館なども運営方法をしっかり検証し財政負担を軽減できる見直しを立



市推進事務局製作

## 社会体育の充実を

**答** スポーツによる市の発展を



山田 勝議員

DISPORTを中心として、総合型地域スポーツクラブの推進を進めているが、社会体育施設の解放状況や利用方法、ス

ポーツパラダイス事業の内容などが市民に浸透していない。市民の社会体育参加を向上させるため、内容等の広報に努めるべきだ。

また、合併特例再活用での総合体育館建設の検討は。

**市長**

スポーツを通しての市の発展ということは考えている。市民に理解できない部分があったが、今

後内容の周知に努めた。体育館については検討だけはしたい。

**自主防災組織の充実を**

**山田**

近年2度にわたる地震、水害を経験して防災対策は地域にとつて大きな課題である。自主防災組織の必要性和内容充実が叫ばれているが、形式的な内容で済まされていない部分があるのではない

**市長**

啓発用のビデオDVDを準備しその活用により意識啓発に努める。積極的に防災指導に出向き対応したい。AEDを順次配備をし、使用方法についても訓練の機会を多く作るようにしたい。

## 大原運動公園の整備、運営構想は

**答** 市のスポーツ拠点として整備を進める



腰越 晃議員

昨年9月議会に引き続き、再度大原運動公園の整備運営構想について、市長の考えは。

**市長**

市全体の地域構想として、大和地区は医療福祉と教育、六日町地区は政治経済、塩沢地区は観光・スポーツ、旧町各々の歴史・特性を活かしたまちづくりを進める。

大原運動公園は、優れた立地条件と広大な面積を持ち、来年の国体のテニス会場として、全国的にも知名度を高めており、ここに市の主要な体育施設を集約していく。

また地元ボランティアの公園を支える活動も拡大しており、地域活性化や観光の拠点、更に自然公園としての可能性も重視していきたい。

硬式野球場については、8千名を超える署名を付した要望を頂いている。この整備により中学生までの軟式野球にとどまらず、高校・大学・社会人・プロまで使用範囲を拡大し、広範なニーズに応えていきたい。

建設及び管理運営については、市の財政に過大な負担とならぬよう、民間の経営手法等も考慮し、入念な検討を進める。

総合運動公園としての全体構想は、硬式野球場、多目的グラウンドの全天候型への改善等も含め、各種関連団体やスポーツ団体及び市民各層の意見を十分に反映した整備運営構想の策定を進め、市民に示していきたい。



大原運動公園



DISPORT

# 総務文教委員会

○期日 2月4日

○調査内容

①学区再編について

学区再編検討委員会の中問答申案の骨子と今後の進め方の説明及び最終答申案を平成20年度中にまとめる計画であることの説明を受けました。

また、五十沢地区の小学校統合については、五十沢中学校に合築の方向で小委員会はまとまり、2月中旬

に全体会で案を示した旨の説明を受けました。

②教育特区について

20年度から始まる教育特区については、当面5小学校だが、22年度には全小学校で国際科の授業が実施されます。

③学力テストの結果について

全国一斉に行われた学力テストの概況は、小学校は国語、算数の知識、活用共にほぼ全国水準であり、中学

校は全国水準をやや下回る状況でした。

④給食費の収納状況について

19年12月末現在の滞納総額は18万2千円あり、該当校は6校該当保護者数24名と言う報告を受けました。

⑤税の収納状況について

12月末現在の収納状況は、前年度同時期より若干下回っている状況でした。

⑥「天地人」の取組状況について

21年1月4日大河ドラマ放映開始に合わせて「天地人博パビリオン」をオープン。直江兼続公伝世館は銭

淵公園に深沢地内から古民家を移築します。

⑦予算編成方針及び財政健全化について

実質公債費比率県内ワースト1の中で、人件費、投資的

経費の抑制、内部経費の削減など財政健全化を最重点に予算編成が行われていきます。

# 産業建設委員会

○期日 2月1日

○調査内容

①市道の除雪状況について

井戸水の汲み上げを少なくするための新型センサーについては、集中管理の井戸75本のうち今年度は68本を切り替えました。

②浦佐本町商店街毘沙門通り歩車

共存道路化社会実験について

国土交通省では平成11年から社会実験をおこなっていて、市内では大

和スマートインター設置がありました。「道路利用者のニーズに的確に

応えるための道路事業の特化と整備管理をおこなうための実験」として浦佐駅西側地区が選定され、国と連携しておこなわれた社会実験です。

③工業団地の現況及び企業誘致の状況について

現時点では企業誘致の成果はなく、手持ち工業団地が無いことが要因です。企業の設備投資をするスピード

が非常に早く、農振除外を用地交渉をしてという手順では間に合いません。

市の優遇策は固定資産税の半減と雇用助成金10万円（上限一千万円）です。

④生産調整について

国の県間調整に期待をしている状況であり、希望数量は1、110トをお願ひしました。

⑤水道事業の現況について

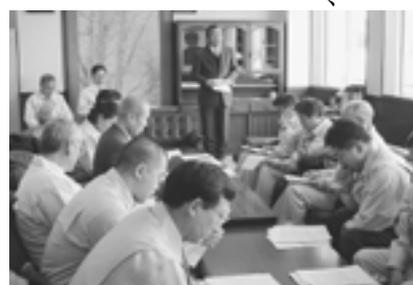
施設の更新時期がきており平成23年をメドにすすめています。60カ所に及び、旧企業団施設は荏原エンジニアリングに管理委託しています。

他の施設の日常点検や、簡易水道施設の4カ所も市職員の管理です。

⑥下水道事業の現況について  
県管理の魚野川流域下水道六日町処理区について、平成20年度の市の負担金は1億1、250万円の予定です。



新型センサーでの消雪状況説明



学区再編の説明

# 議員定数調査特別委員会

が設置されました

**委員長** 関 昭 夫

**副委員長** 若 井 達 男

**委員数** 9名

議員定数（現在30名）について平成20年11月までに調査します。

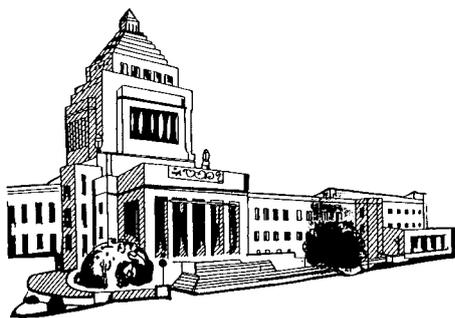
## 意見書提出しました

深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める意見書の提出について

道路特定財源の確保に関する意見書の提出について

柏崎刈羽原子力発電所の徹底調査と危機管理体制の充実を求める意見書の提出について

障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書の提出について



# こちら常任委員会です

## 社会厚生委員会

○期日 1月30日

○調査内容

①認定こども園について

「認定こども園」は平成16年6月に制度化され、特徴としては保育に欠ける子ども、欠けない子どもも受け入れて教育及び保育を一体化にします。少子化の進行、教育、保育のニーズが多様化する状況で、今までの幼稚園・保育園の枠組みを超え、施設の利用が可能になります。

②特別養護老人ホーム「みなみ園」について

昭和63年4月1日に開設され今年で20周年を迎えます。入所定員70名、平均年齢は83・7歳です。入所基準は要介護3以上の方となっており、今入所平均要介護度は4となつています。今南魚沼市内には350人の特養待機者がいます。

③斎場運営について

利用状況は年間700件前後です。今年度改築に向けて地質調査、土地購入、基本設計の見直し等900万円計上し、新炉は4炉で計画しています。火葬時間は1時間ぐらいで大幅に短縮されます。

④後期高齢者医療制度について

4月から新しく75歳以上の高齢者を対象としてスタートし、全市町村が加入する後期高齢医療広域連合が運営します。

保険料は基本的には年金からの特別徴収とし、保険料は2年ごとに見直しをします。

⑤その他

・榊山最終処分場について  
・国民健康保険について  
・平成20年度からの住民健診について

・福祉灯油  
購入費補助事業について



市内保育園視察



# 3月議会 主な議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(※議長は議案裁決に加わりません。)

議員氏名  
(議席順)  
会派  
採決結果

## ◎議案

第3号議案	平成19年度南魚沼市一般会計補正予算(第5号)	可決
第4号議案	平成19年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決
第5号議案	平成19年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
第6号議案	平成19年度南魚沼市下水道特別会計補正予算(第3号)	可決
第7号議案	平成19年度南魚沼市観光施設特別会計補正予算(第1号)	可決
第8号議案	平成19年度南魚沼市訪問看護特別会計補正予算(第1号)	可決
第9号議案	平成19年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第3号)	可決
第10号議案	平成20年度南魚沼市一般会計予算	可決
第11号議案	平成20年度南魚沼市国民健康保険特別会計予算	可決
第12号議案	平成20年度南魚沼市介護保険特別会計予算	可決
第13号議案	平成20年度南魚沼市老人保健特別会計予算	可決
第14号議案	平成20年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計予算	可決
第15号議案	平成20年度南魚沼市下水道特別会計予算	可決
第16号議案	平成20年度南魚沼市水道事業会計予算	可決
第17号議案	平成20年度南魚沼市病院事業会計予算	可決
第24号議案	南魚沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決
第32号議案	南魚沼市後期高齢者医療に関する条例の制定について	可決
第35号議案	南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正について	可決
第37号議案	南魚沼市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定について	可決
第44号議案	八海山麓観光施設の指定管理者の指定について	可決
第62号議案	平成19年度南魚沼市一般会計補正予算(第6号)	可決

## ◎請願・陳情

請願第1号	住民の安全と暮らしに直結した国の地方出先機関を統廃合することの見直しを求める請願(請願者:新潟県公務員共闘連労働者共闘連絡会 代表 井上一英 相馬清 名古屋利夫)(紹介議員:岩野松)	不採択
請願第2号	生活保護基準以下の最低賃金の抜本改正を求める請願(請願者:08国民春闘新潟県共闘会議 議長 山崎栄三 新潟県労働組合総連合 議長 山崎栄三)(紹介議員:笛木信治)	不採択
請願第3号	後期高齢者医療制度の撤回・中止を求める請願(請願者:新潟県生活と健康を守る会連合会 会長 鈴木治雄)(紹介議員:笛木信治)	不採択
陳情第1号	深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める陳情(陳情者:新潟県医療労働組合連合会 執行委員長 塩谷義夫)	採択
陳情第2号	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求める陳情(陳情者:新潟県医療労働組合連合会執行委員長 塩谷義夫)	不採択
陳情第3号	健全に運営されている自主共済を保険業法の適用除外にすることを求める陳情(陳情者:共済の今日と未来を考える新潟県懇話会 他)	不採択
陳情第4号	「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情(陳情者:日本熊森協会会長 森山まり子)	不採択

## ◎議員発議案

発議第3号	住民の安全と暮らしに直結した国の地方出先機関を統廃合することの見直しを求める意見書の提出について(提出者:岩野松)	否決
発議第4号	深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める意見書の提出について(提出者:牛木芳雄)	可決
発議第5号	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求める意見書の提出について(提出者:牛木芳雄)	否決
発議第6号	健全に運営されている自主共済を保険業法の適用除外にすることを求める意見書の提出について(提出者:岩野松)	否決
発議第7号	道路特定財源の確保に関する意見書の提出について(提出者:笠原喜一郎)	可決
発議第8号	柏崎刈羽原子力発電所の徹底調査と危機管理体制の充実を求める意見書の提出について(提出者:牛木芳雄)	可決
発議第9号	障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書の提出について(提出者:佐藤剛)	可決
発議第10号	後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める意見書の提出について(提出者:寺口友彦)	否決

